
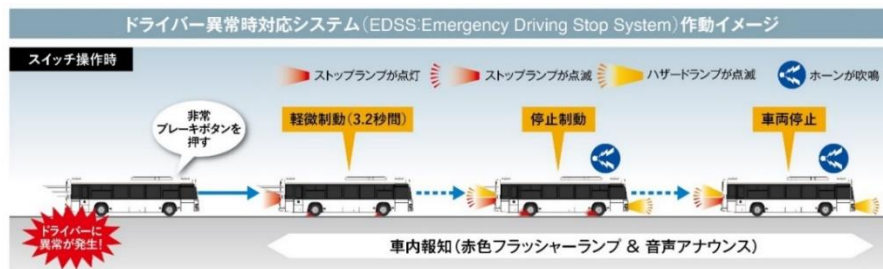


2019年12月 3日

 東京ベイシティ交通株式会社

「ドライバー異常時対応システム」搭載の 大型路線バスを導入しました

東京ベイシティ交通(本社:千葉県浦安市、社長:多田 和義)は、「ドライバー異常時対応システム(EDSS:Emergency Driving Stop System)」を搭載した最新の大型路線バス1両を導入し、12月より運行を開始いたします。



お客様座席側スイッチ

「ドライバー異常時対応システム」とは、バス走行中に乗務員に異常が発生した際、乗務員が運転席のスイッチを押すか、またはお客様が運転席後方に設置されたお客様座席側スイッチを押すことで、バスが制動を開始し、段階的に速度を落とし停止するものです。また、車内では赤色フラッシャーの点滅と音声アナウンスによりお客様にお知らせするとともに、車外へはホーンを鳴らし、ストップランプとハザードランプを点滅させてバスの周囲へ異常を知らせます。

当社では2019年3月より高速バス車両へ「ドライバー異常時対応システム」の導入を開始していましたが、この度導入するシステムは、路線バスの運行において必要となる、立ってご乗車いただいているお客様への安全性にも配慮したブレーキ制御となっております。今後も、お客様に安心・快適にご利用いただけるバスを目指し、安全性・サービスの向上に努めて参ります。

ご参考:「ドライバー異常時対応システム」搭載車両(大型路線バス)の概要

1. 車 種 いすゞ自動車 ERGA 大型路線バス(ノンステップ)
2. 定 員 86名(座席24名+立席61名+ドライバー1名)
3. 安全装置 ドライバー異常時対応システム
(緊急ボタンを押すことで、自動で制動を開始し停止させます。)
4. 運行路線 大型車両が走行可能な、一般路線全線
5. 導入時期 2019年12月
6. お問い合わせ先 東京ベイシティ交通株式会社 電話 047-352-2111



車両イメージ